



# OnCommand Workflow Automation をアップグレードします OnCommand Workflow Automation

NetApp  
October 09, 2025

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/workflow-automation/windows-install/reference-pack-identification-during-upgrade.html> on October 09, 2025. Always check [docs.netapp.com](https://docs.netapp.com) for the latest.

# 目次

OnCommand Workflow Automation をアップグレードします .....	1
OnCommand Workflow Automation 3.1 以降のバージョンからアップグレードします .....	1
アップグレード中のパック ID .....	2

# OnCommand Workflow Automation をアップグレードします

以前のバージョンの OnCommand Workflow Automation (WFA) がインストールされている場合は、新しい機能と機能拡張を使用するために最新バージョンの WFA にアップグレードできます。

- WFA 5.1 へのアップグレードは、WFA 5.0 または 4.2 からのみ実行できます。

現在 WFA 4.1 以前のバージョンを実行している場合は、まず WFA 5.0 または 4.2 にアップグレードしてから、WFA 5.1 にアップグレードする必要があります。

- WFA 5.1 では、WFA 5.0 または 4.2 で作成されたバックアップをリストアできます。WFA のデータベースバックアップは、同じバージョンかそれ以降のバージョンの WFA を実行しているシステムにのみリストアできます。

たとえば、WFA 4.2 を実行しているシステムで作成したバックアップは、WFA 4.2 以降を実行しているシステムにのみリストアできます。

- WFA 4.2 より前のバージョンからアップグレードする場合は、MySQL を独自にインストールすることはできません。

ただし、MySQL は独自にインストールできます。

- WFA 4.2 以降を新規にインストールするとき
- WFA 4.2 から新しいバージョンの WFA にアップグレードする場合。
  - i. 次のいずれかのオプションを使用して WFA データベースをバックアップします。
- WFA Web ポータルにアクセスします
- PowerShell スクリプト WFA を同じバージョンにリポートする場合は、作成したバックアップを使用して WFA データベースをリストアできます。
  - i. 既存のバージョンの WFA をアンインストールします。
  - ii. 最新バージョンの WFA をインストールします。
  - iii. WFA データベースをリストアします。

復元されたコンテンツの機能の完全性を確認できます。たとえば、カスタムワークフローの機能を確認できます。

## OnCommand Workflow Automation 3.1 以降のバージョンからアップグレードします

OnCommand Workflow Automation (WFA) 3.1 以降のバージョンから、使用可能な最新バージョンの WFA へのインプレースアップグレードを実行して、新しい機能と拡張機能を使用できます。

ネットアップサポートサイトから WFA ホストマシンに .exe バイナリファイルをダウンロードしておきま

す。

WFA 5.1 クラスタ接続では、SSL 証明書を承認する必要があります。以前のバージョンの WFA を WFA 5.1 に更新する際には、クラスタ接続を認定する必要があります。インプレースアップグレードの完了後に、クラスタ証明書のクラスタ接続の詳細を保存します。

以前のバージョンの WFA からアップグレードする場合、MySQL を独自にインストールすることはできません。ただし、MySQL は独自にインストールできます。

- WFA 4.2 以降を新規にインストールするとき
- WFA 4.2 から新しいバージョンの WFA にアップグレードする場合。

## ステップ

1. 次のいずれかの方法を選択して、WFA 3.1 以降のバージョンからアップグレードします。

- 対話型インストール
  - i. WFA ホストマシンの .exe バイナリファイルに移動し、ファイルを実行します。
  - ii. ウィザードの指示に従って、アップグレードを完了します。
- サイレントインストール

コマンドプロンプトで、次のコマンドを入力します。

```
「 WFA-version_number-build_number.exe /s /v 」 wfa_admin_username_up = WFA ユーザ名  
wfa_admin_password_up = パスワード /qr/l * v C : \upgrades.log
```

▪ 例 \* :

```
「 WFA-x64-v4.2.0.0-B2973881.exe /s /v 」 wfa_admin_username_up = admin  
wfa_admin_password_up = パスワード * 123/QR /l * v C : \upgrades.log
```



/qn オプションは、WFA ではサポートされません。

サイレントアップグレードを実行する場合は、すべてのコマンドパラメータの値を指定する必要があります。

- wfa\_admin\_username\_up は、WFA データベースのバックアップを作成する権限を持つ WFA ユーザのユーザ名です。
- wfa\_ADMIN\_NETWORK\_PASSWORD\_UP はユーザのパスワードです。

## アップグレード中のパック ID

アップグレードプロセスの実行中、OnCommand Workflow Automation (WFA) はエンティティを識別してパックに分類します。アップグレード前にパックのエンティティを削除した場合、アップグレード中にパックは識別されません。

WFA はアップグレードプロセス中に、データベースのパックと Storage Automation Store でリリースされたパックのリストを比較し、アップグレード前にインストールされたパックを特定します。したがって、パック ID はデータベース内の既存のパックを分類します。

WFA は次のプロセスを実行して、パックを特定し、分類します。

- Storage Automation Store でリリースされたパックのリストを管理し、アップグレード前にインストールされたパックを比較して確認します。
- Storage Automation Store が有効になっている場合に、パック内のエンティティを Storage Automation Store の同期の一部として分類します。
- 更新されたリストを使用してエンティティをパックに分類します。

パック ID は、Storage Automation Store からダウンロードしたネットアップ認定パックにのみ適用されません。

アップグレード中にパックが特定されなかった場合は、パックを再インポートして WFA で特定できるようにすることができます。wfa.log ファイルには、アップグレード時にパックとして識別されなかったエンティティに関する詳細が含まれています。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。